



本郷台小 だより

2月 

横浜市立本郷台小学校
令和5年1月31日
栄区本郷台一丁目6番1号
Tel. 045-893-4010



学校ホームページ：<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>

夢見る未来

副校長 鈴木 勝之

先日、某区の公会堂で上映された映画を鑑賞してきました。タイトルは「夢見る小学校」です。最初にこのタイトルを見た、聞いたとき「おや。いったいどんな映画なのだろう。夢見るって…」と、わくわくした気持ちが湧き上がってきました。観終わった後は、さらにわくわくした気持ちになる、そんなドキュメンタリー映画でした。

映画には、60年間成績通知表や時間割がない「体験型総合学習」を続けている小学校、校則や定期テストをやめた中学校など、いくつかの学校の取組がその様子や校長先生方の話とともに紹介されていました。中でも中心的に紹介されていたのは、こんな小学校です。「楽しくなければ、学校じゃない。」を合言葉に、「プロジェクト」とよばれる体験学習に小1から中3までの異学年で編成された集団で取り組み、子どもたち自らが考え、活動する授業を日常的に展開しています。授業といっても決まった座席があるわけでもなく、先生（という呼び方もしていません）も活動を共に進めるパートナー、相談相手といった存在です。子どもたちは、キラキラした目で、笑顔で多くの人・もの・こととかわり合い、自分たちの目指すゴールに向かって日々、試行錯誤を繰り返しながら様々なことを学んでいます。この小学校では、「自由な子ども」に育つために3つの点を大切に考えているそうです。一つめは、子どもがいろいろなことを決めることです。毎週開かれる全校集会では、一年生も、先生（大人）も、みんな平等にひとり1票で、重要なことは多数決ではなく納得できるまで時間をかけて話し合っ決めて決めます。二つめは、一人ひとりの違いや興味が大事にされることです。個性や個人差を尊重しているので、同じことを同じ方法で、同じペースで、同じ答えに向かって学習する授業はしていません。三つめは、リアルな体験や日常生活が学習の中心になることです。実際に作ったり調べたりする活動が重視され、「プロジェクト」と呼ばれる体験学習が時間割の半分を占めています。子どもは好きなプロジェクトを選んで一年間所属します。もちろん「プロジェクト」の問題解決の過程で様々な教科等の学習もリンクさせて行っています。

ここに紹介した小学校の日常を想像しようとしても、私も含め多くの方が経験してきた学校生活からはかけ離れているようにも思え、なかなかイメージが湧きにくいのではないのでしょうか。でも、どれも実際に存在する学校ですし、実はよく考えてみると本郷台小学校との共通点も見えてきます。本校は、一年生のスタートカリキュラムや生活科・総合的な学習の時間に力を入れています。これらの時間と映画で紹介された小学校に共通することは、まず、子どもが主体ということです。子どもたちの興味・関心や日常生活のちょっとした気付きや疑問などから活動を始め、何を目的に、どのように進めていくのかなども子どもたちと一緒に創り上げていきます。また、一人ひとりの思いを大切にすることも共通しています。例えば、体験やそこから考えたことなどを基にして学習を展開していきます。というより、それがないと基本的に学習は進みません。さらに、教科書に沿ってのみ学習を進めていくのではなく、本物との出会いやかかわりを重視しているところも同じといえます。他にも、大事なことをみんなで話し合っ決めて決ったり、目的に向かって協働的に取り組んだりするところ、活動を進めていく上で必要な学習を関連する様々な教科等の中で学んでいくところなども、実はよく似ているところなのです。このような学習活動を通して得た力は、その後の様々な学習や実生活でしっかりと活用され、生きていく本物の学力だと考えています。力を身に付け、この先の未来に羽ばたいていく子どもたちが育つ、そんなわくわくする毎日を夢見る本郷台小学校であり続けたいと思っています。